

平成 25 年度事業報告(案)

新たな一歩

(一歩目)



社会福祉法人復泉会



平成 25 年度は、当法人の新たな事業所 KuRuMiX の開設及び果実飲料の製造や販売・管理に関する基礎構築をはじめ、相談事業の機能基盤強化、Step5（中長期計画）達成に向けて各所の事業力アップに関する実態の検証と補強を大方針とし、事業を行ってまいりました。

その結果、経営業績についての概要は次の通りとなりました。

- 利用者数前年対比：●福祉就労事業 106.6%（151 名⇒161 名）※定員ベース 123.8%増（130 名⇒161 名） ●福祉居宅事業【GH】 100%（32 名⇒32 名） ●【相談】相談支援数前年対比 413.0%（238 件⇒983 件）。
- 収入前年対比：●福祉就労事業 119.4% 内：就労事業 109.6%（自主 122.7%、下請 104.3%、施設外 94.4%） ●福祉居宅事業 277.3% 内：相談事業 636.9%。
- 当期活動収支差額前年対比：●福祉就労事業 16.6% ●福祉居宅事業 472.0%。

- ① 当法人理念に基づき事業執行した結果、高い利用率の実現、新商品の評価につながり、事業状況は順調に推移していますが、定例的な事業の運営力と比較し、多様化・変革化する仲間たちのニーズや社会事情への対応力が不足する面が散見してきていることから、事業を支える人財や仕組の検証や補強は次年度以降さらに強化し、取り組んでいく所存であります。
- ② KuRuMiX の開所や第 2 くるみの事業変更により、昨年に比べ多くの障がいのある人を迎え入れることのできる基盤を整えました。一方で、開所が期の途中になったことや広報不足、厳しい評価（支援・工賃・送迎・他）等から、新規利用者の足を思うように当法人に向けることができなかったことを厳正に受け止め、事業の在り方を見直さねばなりません。また、居宅事業は短期入所を含め満室の状態が続いていることから、市の福祉計画や当法人を取り巻く諸事情に配慮しながら、親亡き後や仲間たちの高齢化等への対応ができる状態を構築しなくてはならないと考えています。尚、相談事業については、基盤構築をしながらのフル操業であり、次年度に控えている現行福祉サービス利用者全員への計画相談実施に対応できる余力がないことから、更なる整備に力を入れる必要があります。
- ③ 福祉就労事業の収入前年対比増の主要因は、KuRuMiX の新設。福祉居宅事業の収入前年対比増の主要因は、本部で所有していた資産の繰入によるものです。こうした中において、人財・物価の上昇や消費増税・GH 整備の期待等から、資金需要は高まるばかりであります。従って、「仲間たちの支援サービスや地域社会に対する活動の質を高めながら」…「資金を得る」「適正なコストで効果的かつ効率的に経営・管理する」といった点について、一層の努力を要すると考えています。
- ④ 事業を支える人財の育成について、「意識・知識・技術の向上」をキーワードに取り組んでまいりました。その中で外部講師からも意識の高さについて高評価をいただいた一方、知識や技術の現在水準について課題があると自覚することができました。そこで、「課題＝当法人には成長できる可能性が多くある」と認識し、日常業務を通じた人財育成は勿論、人財を育む機会を引き続き創出しながら、当法人の福祉力及び経営力を高める努力を行ってまいります。

■社会福祉法人復泉会 福祉就労事業定員・現員内訳（平成26年3月31日現在）

	くるみ共同作業所		くるみ作業所		第2くるみ作業所 (従：くるみの木)		ワ-ワジョブ [®] くるみ		KuRuMiX	
	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)
サービス管理責任者	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
生活介護	16(72)	20(74)	-	-	18(58)	17(67)	-	-	-	-
就労移行	6(21)	2(4)	6(21)	5(22)	-	-	-	-	6(21)	4(21)
就労継続支援B型	18(42)	24(57)	32(59)	38(65)	14(26)	18(36)	20(35)	24(56)	19(34)	8(38)
浜松市日中一時支援	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-
福祉有償運送	◎	◎	-	-	-	-	◎	◎	-	-
合計(155(43.9)/160(52.6))	40(14.5)	46(18.1)	38(9.0)	43(9.7)	32(9.4)	35(11.3)	20(4.5)	24(6.6)	25(6.5)	12(6.9)

■社会福祉法人復泉会 福祉居宅事業定員・現員内訳（平成26年3月31日現在）

	くるみハウス ねあらい		くるみハウス おれんち		くるみハイツ いずみ		くるみハイツ あゆみ		ケアハウス ①葵西②高丘③竜禅	
	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)	定員(職員)	現員(職員)
サービス管理責任者	(1)						(1)			
共同生活介護	4(1.4)	4(1.6)	-	-	7(2.8)	7(3.4)	-	-		
共同生活援助	-	-	4(0.9)	4(0.9)	-	-	7(1.7)	7(2.2)	①3 ②3 ③4	①3 ②3 ③4
短期入所	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	①◎	①◎
合計(32(9.6)/32(10.9))	4(1.4)	4(1.6)	4(0.9)	4(0.9)	7(2.8)	7(3.4)	7(1.7)	7(2.2)	10(2.8)	10(2.8)

■指定計画相談に定員等はありません：詳細については相談支援事業所くるみ欄（職員：2）

【1】本部主導事業



小さな本部で、ニーズを吸い上げ、復泉会らしさに磨きをかけ、強固な縁の下に

● 理事会・評議員会

定款のとおり、審議ならびに議決を行い、法人経営の根幹を担った。

開催月日	場所	議決事項
5/23 (木)	福祉交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉法人復泉会定款の一部変更について ● 平成 24 年度社会福祉法人復泉会事業報告について ● 平成 24 年度社会福祉法人復泉会収支決算について (以下理事会のみ) ● 社会福祉法人復泉会評議員の任期満了に伴う改選について ● 社会福祉法人復泉会第三者委員の任期満了に伴う選任について ● 社会福祉法人復泉会理事・監事の任期満了に伴う選任について ● 理事長の互選について ● 理事長職務代理者の選任について
9/19 (木)	福祉交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉法人復泉会定款の一部変更について ● 正規雇用労働者育成支援奨励金事業について ● 平成 25 年度社会福祉法人復泉会第 1 次補正予算について
12/6 (金)	ホテルコンコルド浜松	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜松市指導監査改善指導事項について ● 社会福祉法人復泉会第 2 次補正予算について ● 平成 25 年度社会福祉法人復泉会入札参加者指名委員会の設置について ● 施設長人事について
2/19 (水)	くるみ共同作業所	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設長人事について (理事会のみ)
3/20 (木)	福祉交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 25 年度最終補正予算について ● 平成 26 年度事業計画について ● 平成 26 年度当初予算について ● 施設長人事について

● 監事監査・外部監査

(1) 監事監査

定款のとおり、業務執行状況及び財産の状況を監査した。

開催月日	場所	監査項目	監事所見
5/13 (月)	くるみ共同作業所	● 事業報告書	● 不整なし
		● 財産目録	● 不整なし
		● 貸借対照表	● 不整なし
		● 資金収支計算書及び事業活動収支計算書	● 不整なし

(2) 会計士による監査並びに助言指導を行った。

開催月	場所	検出事項
4 月	くるみ共同作業所	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通費の精算について ● アスクルのポイントについて
5 月	くるみ共同作業所	<ul style="list-style-type: none"> ● 規定類の確認について

		● 自家用車の使用について
6月	くるみ共同作業所	● 特になし
7月	くるみ共同作業所	● 請求書送付時の確認について
8月	KuRuMiX	● 遠州食品加工業出資金について ● 建物登記報酬に係る源泉税について ● 積立預金、共済掛け金積立金の増減時の会計処理について
9月	KuRuMiX	● 特になし
10月	KuRuMiX	● 消費税の区分誤りにについて
11月	KuRuMiX	● 会計士指摘事項に関する会計ソフト科目等修正について
12月	KuRuMiX	● 特になし
1月	KuRuMiX	● 特になし
2月	KuRuMiX	● 特になし
3月	KuRuMiX	● 特になし

● 第三者委員会

苦情処理規定のとおり、苦情等を適切に解決するとともに、苦情等いただいた内容と解決に向けた取り組みを、法人経営に反映した。

開催月日	場所	開催主内容
3/12(水)	くるみ共同作業所	● 平成25年度苦情等受入件数及び内容について ● 第三者委員からの意見

・苦情等年間件数 (H26.3.12 第三者委員会開催日時時点)

件名	ヒヤリ・はっと	事故	クレーム(作業)	苦情
合計 154 件	91 件	32 件	21 件	10 件

● 統括本部

理念の実現に向け、理事長を補佐し、事業執行全般(事業計画・予算)のマネジメントならびに Step5(中長期計画)のPDCA管理を行うとともに、執行状況を評価しながら、次代に向けての企画提案を行った。

● 経営企画・管理委員会(施設長会議)

理事長、本部長、部長、事務局長、施設長を構成メンバーとし、事業執行の進捗状況を評価しながら、目的・目標の実現に向けて、法令順守や事業活動から想定される危機管理、「人・物・金・情報・時間」といった経営資源のマネジメント、企画提案等(法人規程等の改定・仕組の改変)、ならびに事業執行に関する内部監査機能を果たし、従業員満足・顧客連携先満足を追求した。

開催月	開催主内容
毎月	● 事業執行マネジメント・内部監査機能 ● 施設長教育
その他必要に応じて適時開催	

● SW(ソーシャルワーク)・サービス向上委員会

理事長、本部長、部長、事務局長、施設長、専門職(社会福祉士・介護福祉士・作業療法士)を構成メンバーとし、支援サービスの進捗を評価しながら、支援サービスの質の向上に向けて、アセスメント手法から支援実務に至るまでの検証・研究・研修・指導等を行い、利用者満足を追求した。

今年度は、共同研究の機会を有効に活用し、担当者会議を開催し、支援サービスの質の向上に努めた。

(1) 共同研究

項目	内容
共同研究（4月・11月）	● 東洋医学と福祉の支援をミックスした共同研究の開催

● 事務局

事務管理面の強化（職員増員等）をして、事務作業の堅実性・生産性を向上させた。会計処理を事務局に集中させることができ、各事業所の事務負担を軽減して現場に従事する環境を構築できた。

また、各事業所からの事業報告を統一様式にして毎月報告することにより、経営状態を明確にして目的・目標に向けた経営判断ができるよう実行した。

経営資源の中でも重要である『人』について、今年度から採用時に DAT（適性検査）を取り入れたことにより、以前よりも確かな採用判断ができるようになった。

Step5 の一年目として、上記を行うことにより、次年度以降の計画を実行していく上での土台を構築した一年であった。

(1) 人事・総務・申請

- (ア) 理事会・評議委員会・監事会・第三者委員会事務
- (イ) 採用・人事考課・辞令交付事務
- (ウ) 勤怠・給与・賞与事務
- (エ) 従業員管理事務
- (オ) 各種申請・更新事務
- (カ) 業務実績蓄積・業務報告・書類等保管事務
- (キ) 法人経営に必要な庶務

項目	内容
社会保険労務士	● 勤怠関係業務委託
採用テスト	● DAT（適性検査）実施
職責適材適所テスト	● DAT（適性検査）実施

(2) 経理・財務

- (ア) 新会計移行事務
- (イ) 予算管理事務
- (ウ) 資産管理事務
- (エ) 会計処理・財務諸表作成事務
- (オ) 施設整備・財務活動事務

項目	内容
KuRuMIX	● 工場棟（地域交流センター・本部機能付き）整備
本部機能移転	● くるみ共同作業所から KuRuMiX へ移行
会計士	● 会計業務監査、財務諸表からの経営助言・指導
KuRuMIX 資金確保	● 福祉医療機構から借入 ● 積立金等運用

(3) 法規・規程・危機管理

- (ア) 各種法規関係掌握・当法人規程等への反映事務
- (イ) 法規・規程順守事務
- (ウ) 経営リスク・事業リスク・利用者リスク・顧客リスク・他関係者リスク・災害対策事務
- (エ) ガバナンス管理事務（統制管理）

項 目	内 容
福祉事業リスク対策	● 施設賠償保険更新継続
就労事業リスク対策	● PL 保険更新継続
災害対策	● 家具等の固定他
東日本震災被災地支援	● 被災地支援実施⇒当法人対策へ反映

(4) 情報・IT・広報

(ア) 情報のインプット・アウトプット環境（仕組）構築事務

(イ) くるみだより・ホームページ他情報発信事務

(ウ) 情報収集・情報蓄積・情報流出対策・個人情報保護事務

(エ) 情報インフラ整備・管理事務

項 目	内 容
くるみだより	● 事業予定・事業実績等の発信
ホームページ運用他	● ホームページ開設 ● 保守・活動費他
情報発信システム	● 仲間たちやご家族、関係各位や就労事業のお客様に対しタイムリーな 情報提供（緊急情報・商品情報等）

(5) 会議・研修

(ア) 会議企画・執行・管理・評価事務

(イ) 研修企画・執行・管理・評価事務

項 目	内 容
職員会議・研修	● 情報収集、意思の共有、知識・技術の習得・向上（隔月開催）
施設長主任者会議・研修	● 情報収集、目的・目標マネジメント（毎月開催）
初任者研修	● 意識の向上と行動スキル向上研修（適宜実施）
中級・管理者研修	● 具体的手段の創出とマネジメント向上研修（適宜実施）

● 福祉就労事業部

生活介護・就労移行・就労継続支援B型・浜松市日中一時支援・福祉有償運送を行う事業所の事業執行マネジメントを行った。

(1) 働く生活支援グループ

今年度は主に就労事業の強化について議論を深め、商品の質の向上に寄与し、自主事業力の強化へつなげた。

(2) 福祉事業

仲間たち個々人のニーズ（潜在ニーズ含）に配慮し、安全で自己実現を目指す事の出来る自律支援サービスが提供できているか否かを評価し、人財スキル向上をはじめとする基礎の再構築をすることで、「アセスメント（サポートファイルからの経緯からの検証含める）～個別支援計画～支援の実践～モニタリング～その繰り返し」の質を向上に関する課題を抽出し、次年度へつなげた。

項 目	内 容
くるみ共同作業所	● 事業体系毎の専門性強化型自律支援
KuRuMIX（8月～）	● 6次連携強化型自律支援
くるみ作業所	● 職業リハビリテーション強化型自律支援
第2くるみ作業所	● 高齢化重度化対応強化型自律支援
ワークショップくるみ	● 就労継続B集中強化型自律支援

【利用者年齢区分】(人)

年齢区分	18歳未満	18歳以上 20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	計
男	0	4	25	26	25	11	7	98
女	1	1	25	14	15	5	2	63
計	1	5	50	40	40	16	9	161
	0.7%	3.1%	31.1%	24.8%	24.8%	9.9%	5.6%	100%

【家族年齢区分】(人)

年齢区分	40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 80歳未満	80歳以上 90歳未満	90歳以上	計
男	0	5	27	52	25	7	1	117
女	1	8	45	46	29	8	1	138
計	1	13	72	98	54	15	2	255
	0.4%	5.1%	28.2%	38.4%	21.2%	5.9%	0.8%	100%

【利用者住居区分】(人)

	家族と同居	一人暮らし	GH	その他	計
利用者	133	4	24	0	161
比率	82.6%	2.5%	14.9%	0%	100%

(3) 就労事業

仲間たちの自主性主体性を尊重した安全で快適な作業環境を構築しながら、お客様に満足いただける「復会会ならではの」商品やサービスの提供を目指し、KuRuMiXブランド（コンセプト：「素材感・懐かしさ・新鮮さ・安全・衛生」 方針：「今かかわりのある皆様が人に本気で紹介したくなる品質を追求し続ける：品質の答えはその時代時代（時々）にある」）等の基礎を築くとともに、仲間たちに対し安定向上的な職の提供と、適正な工賃還元環境の基礎を築いた。

項目	内容
くるみ共同作業所	● 資産稼働率の向上（昨対比 110%）
KuRuMiX（8月～）	● 作業確立と11月～本格運用・復会会販促営業拠点
くるみ作業所	● 環境貢献型事業の確立（昨対比 110%）
第2くるみ作業所	● コア事業の確立（昨対比 105%）
ワークショップくるみ	● 商品価値追求と販促営業体制確立（昨対比 110%）
販路機能強化費	● 全体売上の3%充当⇒販路整備

【平均工賃実績】(円)

	就労移行		就労継続B型		生活介護		全体	
	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度
くるみ共同作業所	21,030	25,974	20,051	25,794	7,463	8,022	16,181	19,930
前年比	81.0%		77.7%		93.0%		81.2%	
くるみ作業所	17,323	18,508	16,840	15,485	-	-	17,081	16,996
前年比	93.6%		108.8%		-%		100.5%	
第2くるみ作業所	-	-	14,646	15,226	2,159	2,325	8,402	8,775
前年比	-%		96.2%		92.9%		95.7%	

ワカヨブ くるみ	-	-	17,687	15,398	-	-	17,687	15,398
前年比	-%		114.9%		-%		114.9%	
KuRuMiX	8,095	0	10,105	0	-	-	9,100	0
前年比	-%		-%		-%		-%	
復泉会 (既存事業所のみ)	15,482 (19,176)	14,827 (22,241)	15,865 (17,306)	14,380 (17,975)	4,811 (4,811)	5,173 (5,173)	12,052 (13,764)	11,460 (15,129)
前年比 (既存事業所のみ)	104.4% (86.2%)		110.3% (96.3%)		93.0% (93.0%)		105.2% (91.0%)	

【事業状況】(千円)

	自主事業		下請事業		施設外事業		合計	
	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度	H25年度	H24年度
売上	42,044	34,034	13,701	13,141	20,727	21,945	76,472	69,120
前年比	123.5%		104.3%		94.4%		110.6%	

● 福祉居宅事業部

共同生活介護・共同生活援助・短期入所・指定計画相談を行う事業所の事業執行マネジメントを行った。

(1) 福祉事業

地域の障がいのある方々及び、仲間たち個々人の意向とニーズ(潜在ニーズ含)を元に、それぞれの事業内容及び体制等について分析しつつ、安全に自己実現を目指す事の出来る自律支援サービスが提供できているか否かを事業評価した上で、事業体制の見直しと人材スキル向上をはじめとする基礎の再構築をすることで、「アセスメント(サポートファイルからの経緯からの検証含める)～福祉サービス等利用計画及び個別支援計画～支援の実践～モニタリング～その繰り返し」の質の向上及び、事業の円滑な推進を行った。

<1> 相談支援

地域の障がいのある人々や、仲間たちのニーズを的確に把握し、アセスメントを通じて円滑なサービス利用に繋げることができるように、福祉サービス利用計画の作成を行い、また、ケアマネジメントの手法を用いて、サービスニーズだけではなく、様々な生活相談に対しても、柔軟かつ迅速な対応を行い、相談者の生活を支える一助として機能した。

項目	内容
相談支援事業所くるみ	●福祉サービスの円滑な利用計画書の作成及び支援

<2> 居宅事業

各所の地域に根ざし、仲間たちが主体的、意欲的に生活を構築していく事ため、近隣住民との関わり、地域行事へ積極的に参加をし、継続的かつ、きめ細やかな対話を通じて真のニーズをくみ取る。その上で、必要に応じた様々な相談を丁寧に実践しつつ、毎日の「働く」ことと、「生活」することの基盤を支えるための支援を行った。

項目	内容
地域活動センターくるみ	※ 本年度、事業休止
くるみハイツ	●プライバシー及び相互対話を尊重した支援
くるみハイツ短期入所	●セーフティーネットの役割を重点とした支援
くるみハウス	●近隣・地域との輪を広げるネットワーク構築支援

ケアハウスくるみ	●社会と「働く」つながりを重点とした支援
ケアハウスくるみ短期入所	●受け入れ体制の再構築を踏まえた事業体制の整備

● 年間共通行事

地域との「であい、ふれあい、きず（づ）きあい」を実践し、仲間を増やし、障がい福祉の輪を広げ、ノーマライゼーション実現に寄与するとともに、仲間たちが生きる喜び、働く喜び等を共感し、働くことを始めとする生活の充実や、自律生活を目指した行動動機の一助となるよう企画・開催した。

項 目	開催月日	場 所	内 容
お花見	4/6（土）	浜松城公園	●季節感を感じながら、ささえる会会員・仲間たち・家族・職員の交流を深めた
社会体験旅行	5/17（金） 5/18（土）	東京ディズニーランド	●日頃の勤労を労い、仲間たち・家族・職員の交流を深め、日常の支援に寄与した
コミュニティモール in くるみ	6/2（日）	浜松市立北小学校	●障がいのある人もない人も安心して地域で暮らすことのできるコミュニティ創りのためのバザー、ならびに震災復興に貢献した
納涼祭	7/19（金）	ワークショップくるみ	●隣接のもくせい会と合同で地域の皆様と盆踊りなどを通して交流しながら、相互理解を深めた
蓮田の夏祭り	8/10（土）	くるみ作業所	●地域の文化を継承しながら、夏祭りを通して地域の皆様と交流し、相互理解を深めた
浜松市北校区大運動会	10/13（日）	浜松市立北小学校	●くるみ発祥の地「中沢」において、自治会主催の運動会において交流し、相互理解を深めた
三幸町秋穫祭	10/5（土）	くるみ共同作業所	●復泉会の拠点である三幸町において、秋の収穫を地域の方々と共に過ごし、相互理解を深めた
地域交流パーティー	11/24（日）	浜松グランドホテル	●復泉会・障がい福祉の近況や功績等を地域の皆様にお知らせをするとともに、仲間を含む関わりある多くの方をホテルでもてなし、様々な交流を通して相互理解を深めた
忘年会	12/27（金）	オークラアクトシティ浜松	●仲間たちと共に1年の労うとともに、新成人の方たちを祝し、年越しの無事と次年へ向けた
餅つき大会	12/30（月）	くるみハイツ	●1年の終わりを察に住む仲間たちを中心に地域の方々と交流し、相互理解を深めながら1年を締めくくった
新年会	2/2（日）	ホテルコンコルド浜松	●日頃お世話になっている企業や地域の皆様と新年の挨拶を交わしながら交流し、相互理解を深めながら障がい福祉の発展に寄与した
ファミリーリーグ大会	2/14（金）	毎日ボウル	●作業動機に結び付くよう日常的な関わりを行いながら当日を迎え、家族、仲間たち、職員の交流を深めながら、日常支援成果の評価をした
浜松フルタイムザム			●委員会を立ち上げて会議を行い、次年度開催に向けて準備を進めた

● その他

諸団体との連携・外部活動他

当法人の理念・目的・目標を果たすため広域的に情報収集するとともに、関係諸機関所団体との連携を強化し、障がい福祉の向上に寄与した

項 目	内 容
静岡県作業所連合会・わ 理事・新体系事業移行研修委員	● 県内約 150 作業所が加盟する連合会 事務局長
静岡県社会就労センター協議会	● 旧授産施設が中心に加盟する団体
静岡県知的障害者福祉協会	● 知的関係施設・事業所が加盟する団体
オールしずおかベストコミュニティ	● 連携して企業等とのネットワーク構築
浜松市社会福祉協議会	● 評議員 理事長
静岡県障害者自立支援協議会人材養成部会	● 相談専門員・サビ管養成企画・運営 事務局長・福祉居宅事業部長
静岡県自立支援協議会アドバイザー	● 自立支援協議会運営に関する指導・助言 福祉居宅事業部長
静岡県社会福祉協議会福祉職員生涯研修指導者	● 福祉従事者新任・中堅職員研修の企画・運営 福祉居宅事業部長
就労支援ネットワーク会議	● 行政、企業と連携して障害就労を支援
浜松市インクルージョン研究会	● 共生社会についての研究会
浜松市福祉を考える会	● 福祉関係者による福祉の在り方を検討
浜松市自立支援連絡会 北区・中区・南区	● 地域相談支援の中核をなす協議会
浜松・百姓のチカラ	● 農業関係者と共に6次産業に取り組む
浜名湖のりブランド推進協議会	● 産学官と共にブランド推進に取り組む
北区の仲間	● 北区経営者との交流・地域振興
静岡県中小企業家同友会 浜松支部長・障がい者問題委員会	● 全国 4 万会員、県内 900 会員 統括本部長
外食産業リーダーズフォーラム	● 外食産業経営者との交流・商談 統括本部長
日本異業種交流会 40' S 副会長	● S40 代経営者との交流・共育・商談 統括本部長
日本フードサービス協会（日本最大の外食団体）	● 商談会・食に関する情報収集・営業・研修他
静岡県清涼飲料工業組合	● 飲料の衛生・品質・法令等情報収集
その他	● 他法人の理事等

【来客、見学、実習、ボランティアの状況】

	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数	
	H25 年度	H24 年度	H25 年度	H24 年度	H25 年度	H24 年度	H25 年度	H24 年度
延人数	1,800	1,188	703	245	270	446	2,683	2,091
前年比	151.5%		286.9%		160.5%		128.3%	